

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 5 月 10 日(2023.5.10)

【公開番号】特開 2021-447(P2021-447A)
【公開日】令和 3 年 1 月 7 日(2021.1.7)
【年通号数】公開・登録公報 2021-001
【出願番号】特願 2020-105457(P2020-105457)
【国際特許分類】

A 6 1 M 25/02(2006.01)

10

A 6 1 M 5/142(2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/02 5 0 4

A 6 1 M 5/142

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 4 月 27 日(2023.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医療デバイスを製造する方法であって、
貫通する複数の貫通穴を有するように可撓性ベース部分を形成するステップと、
前記貫通穴を接着パッチと連通させて前記可撓性ベース部分を前記接着パッチの非患者側に置くステップと、

接着剤を前記貫通穴内へ前記接着パッチ上に、および前記貫通穴を取り囲む前記可撓性ベース部分の壁上に施与するステップと、

30

前記接着剤を硬化させて、前記可撓性ベース部分を前記接着パッチに機械的に結合させる接着プラグを形成するステップとを含む方法。

【請求項 2】

前記可撓性ベース部分は、熱可塑性ポリウレタンを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記可撓性ベース部分を形成するステップは、前記可撓性ベース部分を射出成形することを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記可撓性ベース部分を形成するステップは、2 ショット成形プロセスの第 2 のショットにおいて前記可撓性ベース部分を剛性ベース部分上に射出成形することを含む請求項 3 に記載の方法。

40

【請求項 5】

前記接着剤を施与するステップは、前記接着剤を前記貫通穴内へ前記接着パッチ上に、および前記貫通穴を取り囲む前記可撓性ベース部分の前記壁上にピコ噴射することを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

体に付ける医療デバイスであって、

1 つまたは複数の貫通穴を内部に有する可撓性ベース部分と、

接着パッチであって、前記可撓性ベース部分は、前記貫通穴を前記接着パッチと連通さ

50

せて前記接着パッチの非患者側に配設される、接着パッチと、

前記１つまたは複数の貫通穴内の前記接着パッチ上で、および前記１つまたは複数の貫通穴を横方向に取り囲む前記可撓性ベース部分の壁上で硬化される接着プラグであって、前記可撓性ベース部分を前記接着パッチに機械的に結合させる、接着プラグとを備える体に付ける医療デバイス。

【請求項 7】

前記可撓性ベース部分は、熱可塑性ポリウレタンを含む請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 8】

前記可撓性ベース部分は、剛性ベース部分上に成形される請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 9】

前記可撓性ベース部分は、前記剛性ベース部分より低いデュロメータを有する請求項 8 に記載のデバイス。

10

【請求項 10】

前記可撓性ベース部分は、前記剛性ベース部分を横方向に取り囲むように成形される請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 11】

前記デバイスは、液体薬剤を患者の皮膚に送達するためのカニューレをさらに備え、前記カニューレは、前記接着パッチ内の穴を通して前記剛性部分から延びる請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 12】

剥離ライナをさらに備える請求項 6 に記載のデバイス。

20

30

40

50